

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 2月 26日

公表:令和 8年 3月 21日

事業所名 にじいろPLUS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	定員と訓練室面積を照合し、運営しています。	利用増減に応じ、動線と配置を定期的に見直します。
	2 職員の配置数は適切である	8	0	配置基準を踏まえ、役割分担で支援力を確保しています。	利用数に応じた職員配置を整え、負担の偏りを是正します。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	段差等を点検し、バリアフリーの安全を確保しています。	利用者特性に応じ、設備と備品配置を随時更新します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	目標と振り返りを共有し、改善を継続しています。	改善記録を可視化し、方針と期限を明確にします。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	アンケート結果を会議で分析し、運営改善に反映しています。	自由記述を深掘りし、改善案の具体化を進めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	自己評価を公表資料に整理し、透明性を確保しています。	公表後の問合せ窓口を明確にし、周知を強化します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	外部評価の指摘を会議で共有し、改善に活かしています。	外部講師に支援現場を確認いただき指導をいただいています。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	研修計画を立て、OJTと併用して学びを定着させています。	研修後の実践報告会を設け、学びの活用度を高めます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	面談と観察でニーズを整理し、計画へ反映しています。	アセスメント様式を統一し、客観性をさらに高めます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	簡易尺度等を取り入れ、状況の変化を定期確認しています。	標準化ツールの選定と研修を行い、使用率を上げます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	週会議で意見を出し合い、活動をチームで立案しています。	立案経過を記録化し、欠席者にも共有できるようにします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	季節や目標に合わせて内容を更新し、固定化を防いでいます。	利用者ニーズを踏まえ、新規プログラムを定期追加します。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	平日と休暇で目標を分け、個別課題を設定しています。	長期休暇の計画を早期に作成し、周知を徹底します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	状況に応じ個別と集団を合わせ、計画を作成しています。	活動選択肢を増やし、組合せの妥当性を検証します。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	開始前に打合せを行い、役割と注意点を確認しています。	短時間でも必ず実施できる打合せ手順を整備します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	記録を作成し、共有、振り返りをしています。	振り返り時間を確保し、未実施日ゼロを目標にします。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	支援記録を当日入力し、支援の検証に活用しています。	記録の質点検を行い、記載基準の統一を進めます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	モニタリング日程を管理し、計画見直しを実施しています。	評価指標を明確化し、見直し判断の確実性を高めます。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	基本活動を合わせ、生活力と社会性の支援をしています。	活動の狙いを文書化し、職員間の理解を統一します。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	担当者会議へ適任者が参加し、状況共有を行っています。	会議参加後の共有様式を整え、全職員へ展開します。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	学校と予定等を共有し、送迎や連絡調整を行っています。	緊急連絡フローを再点検し、連携の漏れを防ぎます。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0	医療的ケア児は主治医と連絡手順を整備しています。	緊急時の代替連絡先も含め、連絡体制を強化します。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	児童発達支援事業所等と情報交換し、支援の継続性を確保しています。	引継ぎシートを標準化し、重要事項の漏れを防ぎます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	移行時は支援内容を文書で提供し、引継ぎを行っています。	移行前面談を増やし、本人・保護者の不安軽減を図ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	専門機関の助言を受け、支援方法の更新に活かしています。	助言の実践状況を点検し、改善循環をさらに強化します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3	地域資源を調べ、交流機会の検討を進めています。	交流先を開拓し、3月1回の交流機会確保を目標にします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	協議会等の情報を収集し、事業所内で共有しています。	参加担当を固定化せず、参加者を増やし学びを共有します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時や連絡帳で状況を共有し、共通理解を持っています。	面談機会を増やし、課題整理と合意形成を強化します。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	8	0	資料提供や助言を行い、保護者支援につなげています。	ペアトレ等の案内を充実し、参加しやすさを改善します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	規程や負担等を資料で示し、説明しています。	説明資料を更新し、要点が伝わる構成へ見直します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っています。	相談記録を整理し、支援につながる手順を明確にします。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	保護者会等を案内し、保護者同士の連携を支援しています。	定例開催を目指し、連携を促進します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	苦情窓口を周知し、迅速に対応できる体制を整えています。	対応後の再発防止策を文書化し、共有を徹底します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	HUGで活動概要と予定、連絡体制を発信しています。	発信頻度を見直し、情報更新の遅れを防ぎます。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	個人情報の手順を守り、施錠管理等を徹底しています。	定期監査と研修を行い、漏えい防止意識を高めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	意思疎通に配慮し、伝わりやすい連絡手段を工夫しています。	支援ツールを拡充し、意思疎通の質を高めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1	地域行事の情報収集を行い、地域交流を検討しています。	地域住民招待の機会を設け、地域に開く運営を進めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	各種マニュアルを策定し、職員と保護者へ周知しています。	改訂履歴を管理し、最新内容の周知を徹底します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	避難訓練を計画的に実施し、役割と動線を確認しています。	想定を変えた訓練を追加し、非常時対応力を高めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止研修を行い、早期発見の視点を共有しています。	チェックリストを活用し、日常の気づきを強化します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	身体拘束の基準を共有し、計画へ明記し説明しています。	記載内容を点検し、説明の分かりやすさを向上します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	アレルギー情報を一覧化し、提供前確認を徹底しています。	医師指示書の取得と更新管理を徹底し、誤提供を防ぎます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハットを集計し、再発防止策を共有しています。	報告しやすい仕組みを整え、事例の把握と分析を強化します。